

◆助成対象治療及び助成上限額

(1)妊よう性温存療法（凍結保存時における年齢が43歳未満の方）

助成の対象となる治療	助成上限額
胚(受精卵)の凍結	35万円
未受精卵子凍結に係る治療	20万円
卵巣組織凍結に係る治療(組織の再移植を含む。)	40万円
精子凍結に係る治療	2万5千円
精巣内精子採取術による精子凍結に係る治療	35万円

※助成回数は、対象者1人に対して通算2回まで

(2)温存後生殖補助医療（妻の年齢が43歳未満の夫婦）

助成の対象となる治療	助成上限額
(1)で凍結した胚を用いた生殖補助医療	10万円
(1)で凍結した未受精卵子を用いた生殖補助医療	25万円
(1)で凍結した卵巣組織再移植後の生殖補助医療	30万円
(1)で凍結した精子を用いた生殖補助医療	30万円

※助成回数は妻の年齢が40歳未満で通算6回(40歳以上で通算3回)まで

◆対象となる原疾患

- ①「小児・思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関するガイドライン」（日本癌治療学会）の妊よう性低下リスク分類に示された治療のうち、高・中間・低リスクの治療
- ②長期間の治療によって卵巣予備能の低下が想定されるがん疾患：乳がん(ホルモン療法)等
- ③造血幹細胞移植が実施される非がん疾患：再生不良性貧血、遺伝性骨髄不全症候群等
- ④アルキル化剤が投与される非がん疾患：全身性エリテマトーデス、ループス腎炎等

◆提出先・お問合せ先

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺六丁目18番1号
熊本県 健康福祉部 健康局 健康づくり推進課 企画・がん対策班
※封筒の表に「妊よう性温存治療費助成申請書在中」と

朱書きしてください、

受付時間：月曜日から金曜日

(祝日、12月29日から1月3日を除く。)

午前8時30分から12時、午後1時から午後5時

電話：096-333-2208



熊本県ホームページ

熊本県 妊よう性温存 助成 検索

ご利用方法

1

熊本大学病院 がん相談支援センターへ電話で
がん生殖医療相談を希望していることをお伝えください。

連絡先 TEL:096-373-5676

2

以下の申込書および情報診療提供書を作成し、
現在、受診している病院よりFAXでお申込みください。
(患者様は主治医に依頼してください。)

送信先 FAX:096-373-5828

申込書(Word)

診療情報提供書(Word)

申込様式については、当センターのホームページよりダウンロードできます。
<https://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/oncofertility/>

3

日程調整後、受診している病院を通して患者様へ
相談日時を連絡します。

4

患者様は紹介状など必要な書類を持参し、指定された日時に
本院産婦人科外来にて医師との面談を行います。

相談料金(自費、税込)9,120円

※相談は、がん・生殖医療に関する情報提供(カウンセリングと可能な選択肢の提供)
のみとなります。実際の治療はその後、方針決定後に計画します。

パンフレット



生殖医療・がん連携センター
ホームページで
ダウンロードできます。



YouTube 解説動画

がん治療を始める前に、妊孕性温存について知っておいていただきたいこと

～男性編～

https://youtu.be/OAhp_J5upKA



～女性編～

<https://youtu.be/tP2UfFWbt4>



熊本大学病院
がん相談支援センター

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号

TEL 096-373-5676

<https://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/gansoudan/>

生殖医療・がん連携センターの ご案内

がんの治療として、化学療法(抗がん剤治療)や放射線療法を行うことがあります。これらの治療では、妊娠のしやすさ(受胎能力・妊よう性)が低下したり、不妊になることがあります。

最近では生殖医療の進歩により、妊よう性を温存することが可能になりつつあります。

Kumamoto University Hospital
熊本大学病院

熊本県がん診療連携協議会 相談支援・情報連携部会

お子さんをもつ可能性を残す方法（男性）

がん治療後に自分のお子さんをもつ可能性を残すには、精子凍結が唯一確立した方法で、「精子凍結」「精巣内精子採取法（TESE）」「精巣組織凍結法」の3通りの方法があります。

精子凍結

マスターベーションや電気刺激等で精子を採取し、いくつかに分けて凍結する方法です。

一回で十分な精子が採取出来ない場合は何日かに分けて採精します。
最も確立した方法です。

精巣内精子採取法（TESE）

精液中に精子が存在しない場合でも、精巣内に精子が存在することがあります。精巣内精子採取法（TESE）とは、手術により摘出（生検）された精巣組織の一部から得られた精子を凍結保存する方法です。

精巣組織凍結法

手術によって精巣組織の一部を摘出し、凍結保存する方法です。
精巣機能が発達していない小児でも妊よう性温存が可能です。
現在はまだ研究段階の治療とみなされています。

精子凍結

マスターベーションで精子を採取
（難しい場合は電気刺激などを行う）



精巣内精子採取法（TESE）

手術によって精巣から
精子を採取

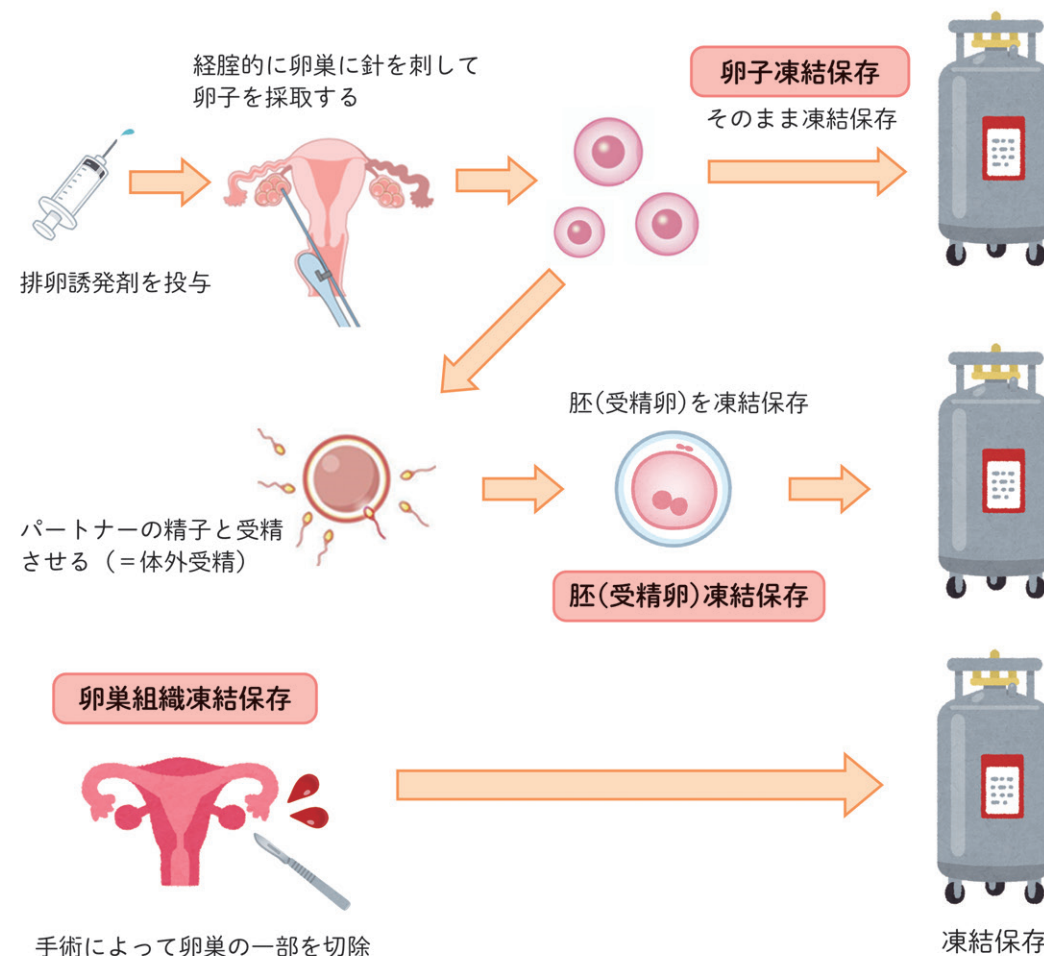
凍結保存

※精巣組織凍結は、当院では実施しておりません。
希望される方は実施病院を紹介いたします。

お子さんをもつ可能性を残す方法（女性）

抗がん剤で影響を受ける前にあらかじめ卵子または卵巣を凍結保存する方法で、「卵子凍結保存」「胚（受精卵）凍結保存」「卵巣組織凍結保存」の3通りの方法があります。

※卵子凍結・胚（受精卵）凍結にかかる日数は1回あたり2～3週間程度です。
猶予があれば、2回行うこともあります。



※卵巣組織凍結は、当院では実施しておりません。希望される方は実施病院を紹介いたします。